

## ACP(アドバンス・ケア・プランニング)研修

テーマ：「もっとポジティブにACP支援 ～なにを大切に、どう進めるか～」

社会医療法人  
仙養会北摂総合病院  
野口 忍 先生



国立刀根山病院附属看護学校卒。  
国立循環器病研究センターに勤務後、  
98年民間病院の訪問看護ステーション  
開設スタッフとなる。  
00年北摂総合病院訪問看護ステーション入職、  
05年より同所長。10年大阪府立大学大学院在宅看護CNS  
コース進学。12年修了(所長に復帰)  
13年在宅看護専門看護師資格認定  
15年同病院退院調整担当看護師長

### ACPができないことへの対応策 まとめ

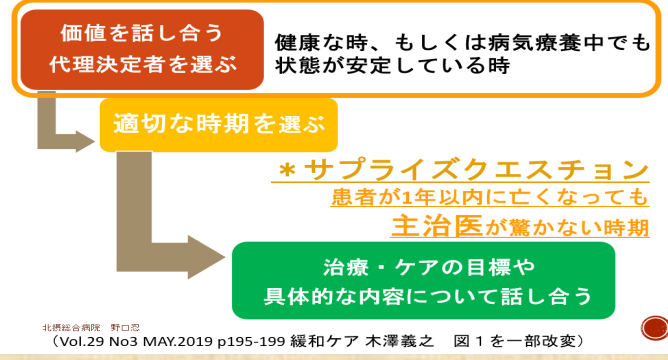
- ① 人生の最終段階における話し合いのノウハウがない  
対応策：ツール使用
- ③ 人生の最終段階の話を切り出すことに抵抗を感じる  
対応策：なぜACPが必要なかを十分に理解していただく
- ⑤ どの医療・ケアを行ったらどうなるのか説明できない  
→状況を把握したアセスメントができない  
対応策：多職種で情報共有をして、状況を把握したアセスメントを行う

### 4. 訪問看護の利用者130名に説明配布 2022年9月5日-10月31日

ガイド 記載用紙

100%が好意的に受け取った

### ACPの実践モデル



Full CodeとDNRを確認することだけを  
ACPと混同しないこと

### 全体のまとめ

- 専門職の役割として、多職種と協働しながら患者の意思表示支援と意思決定支援をおこなう
- 自らも自分と大切な人とACPをおこなう
- 目的：自院でのACPの取り組みを具体的に考えることができる

研修担当者(府北役員)  
永久 教子 吉田 博美 矢研田 めぐみ 松下 奈美



まずは自分自身がひとりの生活者として「その時、どうしたい? どうしてほしい?」をじっくり考えることからACP支援は始まるのだとあらためて感じました。そして、「最後、どこまで延命処置をするか患者家族に確認するのは誰のため? 医療者の安心のためになってませんか?」という先生の投げかけについてもスタッフと一緒に考えていきたいです。

### 編集後記 府北支部書記 青野 裕子

退院支援やACPIは、今の時代に取りざたされているテーマですが、この研修で本来の看護の目的・役割であることを改めて考えることが出来ました。今後は、患者の人生最終段階に関わりを持つことが出来る知識、スキルや看護力(思い)を身につけたいものです。

### 次回研修会：2023年2月開催予定

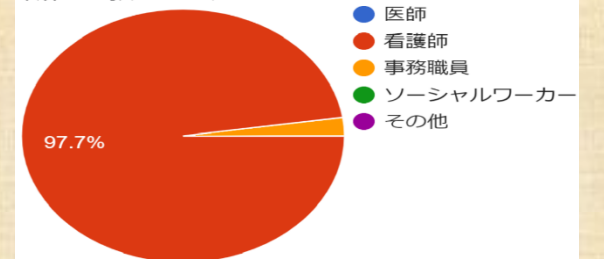
他、多数のご意見をいただきました。ご協力いただきありがとうございます。

43件のご回答

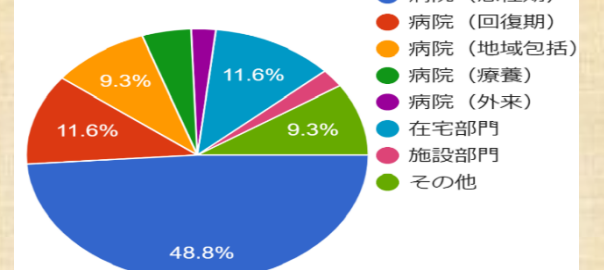
### ご意見・ご感想について(一部抜粋)

- ☆実施時間を不満にしたのは、まだまだお話を聞いていたかったからです！とても有意義な講義でした。
- ☆自分や家族の選択を振り返る機会となりました。
- ☆業務に追われる現状ですが、少しでも考える時間を確保しようと、日々検討しております。医師を含め、同じ方向性で患者さんと関わることが出来ることを切望します。
- ☆大変わかりやすかったです。自施設での取り組みは、まだこれからです。患者さんのために進めたいと思いました。
- ☆がんで家族を亡くしたので、本当にしんどくなった時ではなくて、早い人生会議が大切だと思います。
- ☆色々な事例を出して頂きわかりやすかったです。病状の変化によって気持ちも変わっていく事が理解できました。
- ☆講演ありがとうございました。部署内での伝達講習のためにできれば講義資料を提供頂きたい、ご検討の程お願い致します。
- ☆退院支援の担当をしているので、BSCの方の看取りの場所を決める場面がとても多いので、大変勉強になりました。
- ☆事例を用いていてわかりやすかったです。色々な職種の態度や考え方も聞いて勉強になりました。普段、入院前の患者の入院前面談をしているのですが、やはり初対面ではなかなかとっかかりにくい話題ではあります。しかし、入院してから起こる可能性のある「最期」のことや、「終末」が近づいてきてから考えるでは遅いかも、ということを胸に患者さんに少し考えてもらうきっかけを作れるようになればいいなと思いました。
- ☆親に話をした時に嫌がられたのは話すタイミングもあったのだと振り返ることができました。講義でもあったように自分が経験し、患者様に不利益がないよう還元していければと思います。
- ☆訪問診療を担当していますが、ACPについてはどの患者様に対しても悩むところでした。今回の研修内容を生かし、患者様と向き合っていきたいと思っております。もっと時間が長く講義を受けられたらと思います。
- ☆一番印象に残ったのはDNRを医療者の立場から簡単(安易)に確認していると反省しました。本当はもっと家族の立場を考えて問わないといけない事柄なのだとことを考えさせられました。

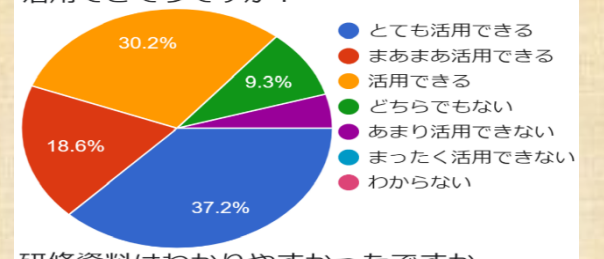
### 職種を教えてください



### 所属部署を教えてください



### 研修での学びを今後自施設で活用できそうですか?



### 研修資料はわかりやすかったですか?

